

米沢市都市計画マスタープラン及び米沢市立地適正化計画 第4回検討委員会 会議録（要点筆記）

- 1 日 時 令和2年3月27日（月） 午後1時30分～午後2時50分
- 2 場 所 米沢市役所 議会棟2階 委員会室
- 3 出席者 委 員 増村力委員長、小林秀一委員長代理、加藤渉委員、須貝容子委員、鈴木正幸委員、高澤由美委員、高橋弦子委員
（欠席 伊藤美智子委員、大木一明委員、大道寺浩一委員、藤崎晃委員）
事務局 建設部長、都市整備課長、同課長補佐、都市政策主査、同課主任
（策定支援委託会社 2名）

4 内 容

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 議事
- ① 第5章立地適正化計画について
 - ② 第6章地区別構想について
 - ③ 計画全般について
 - ④ その他
- (4) 閉会

〔開始 午後1時30分〕

1 開会

2 あいさつ

(委員長)

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画は、未来における地域づくりを行う上で、大切な計画のひとつである。今回は、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の全ての内容を御提示するので、皆様に御審議いただき、市民の皆様にお話しできるような内容にしたいので、議論をお願いしたい。

3 議事

米沢市都市計画マスタープラン及び米沢市立地適正化計画検討委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員長が議長となり議事進行を行った。

(1) 第5章立地適正化計画について

事務局より、配布資料に基づき説明。

(委員長)

本日の資料について、質問意見を出していただきたい。

(委員)

誘導施設の高等教育機関は、高校、大学となっており、中心地区か学園地区に誘導するということだが、先日の新聞報道にあったとおり米沢商業高校が米沢工業高校に統合され米沢商業高校の敷地が空いて、定時制が設置されるということで、今後考えられるのは、おそらく米沢興譲館高校と米沢東高校をどうするのかという問題かと思う。今時点の高校再編に関して、わかる範囲でいいので方向性を聞かせてほしい。

(事務局)

我々にも情報は入っていない。本計画でまちづくりの将来像というものをお示ししながら考えていただくところしか今のところはない。

(委員)

69 頁の都市機能誘導区域での施策で、病院、市庁舎、道路とある。市道の整備事業とは具体的にどのようなものか。

(事務局)

資料の 68 頁に誘導区域の図面を載せているが、赤線で示した都市機能誘導区域の内における市道整備となる。市立病院の建設事業に関わる周辺市道の一部改良や、道路幅員の狭いところの拡幅事業といった市道整備と考えている。

(委員長)

万世橋成島線のことではないということか。

(事務局)

そちらは都市計画マスタープランの中で都市計画道路として位置付けがある。

(委員)

拡幅道路は結構あるのか。

(事務局)

事業箇所自体は少ないかもしれないが、要望は多数ある。

(委員)

75 頁の公共交通ネットワークの維持、充実で基準値以上を目標値としているが、前提となっているコンパクト・プラス・ネットワークの観点から、コンパクトにまとめられた中での公共交通だけなのか、周辺部とのつながりも含めた利用者数なのか。

71 頁の居住誘導区域で講ずる施策として、さまざまな施策を載せているが、具体的な支援策というものはあえて掲載していないのか。例えば固定資産税減免や新築補助など。

(事務局)

公共交通ネットワークの目標値は、全市域を対象とした数値である。あくまでもコンパクト・プラス・ネットワークという考え方は、周辺地域の方々が中心部の都市機能をいかに利用しやすくし、周辺地域と中心部がお互い交流しながらまちの機能を高めていくという方向性を踏まえて、公共交通を充実させていくという考え方である。

居住誘導区域、あるいは都市機能誘導区域の支援策は、例えば誘導区域の範囲ですでに既存の補助金の支援を上乗せするといったものについては、これから協議させていただくため、現段階では具体的に示せるものがない。

(委員)

一点目の公共交通に関しては、これからの高齢化を考えると、ぜひ交通事業者と詰めていただいて、充実した施策を立てていただけると良い。

二点目に関しては、郊外では届出が必要だが住宅建設を否定するわけではないので、より強いインセンティブがないと、中心部への誘導は難しい。ぜひ思い切った誘導策を協議していただきたい。

(委員長)

支援策については、本計画を基にこれから煮詰めていくと聞いている。どうしても大枠的な話になってしまうので、ここで終わらず支援の方まで示していただきたいと思う。

(委員)

今回の台風 19 号で、とある高齢者施設において初めて全利用者を避難させた事例を、高齢者施設の会報で目にした。高齢者施設は中心部ではないところにも立地している。高齢者は自主避難が困難な場合もあり、そういった場合の支援体制というのはどのようなものだったのか。

また、子育て支援として、屋内で遊べる遊戯施設のようなものもいずれ整備したいとの報道があるが、これについてはどうか。

(事務局)

台風 19 号関連での質問に関しては、異常気象への対応ということで河川のハザードマップも今までの想定を見直し、最大限考えられる雨量を基にしたものが、4月1日の広報とともに配布される予定である。今回浸水エリアを配慮しながら居住誘導区域を示したところである。高齢者施設の避難のかたちは、ハザードマップをみてどこに避難するのか、どのレベルで避難するのかの議論をしながら、対処していただきたい。地域にも防災組織づくりということで、さまざま投げかけている。公助、自助、共助というかたちでも災害に対応するようなかたちで呼びかけている。

屋内遊戯施設については、整備するような方向でまちづくり総合計画第3期実施計画にも示した。どういったかたちで整備するかというところを、場所も含めて議論していく予定である。71頁②の屋内遊戯施設整備事業を掲げてこれから具体的に進めていきたいと考えている。

(委員)

米沢市でも自主防災組織の育成ということで日々活動しているかと思うが、災害が少ない市ということで、住民の意識がとても低い感じがしている。危機管理室の所管かと思うが、どのように自主防災組織活動強化を進めていくのか。また、意識の低さに対して、どのように市民に意識付けをしようとしているのか。

(事務局)

自主防災組織の組織率は、県内でも低いほうである。このことを示しつつ、今回改正のあったハザードマップを活用して、町内や地域に説明していききたいと考えている。

自主防災組織未設置の地域には、理解していただけるよう説明していききたい。

(委員)

市民の意識の低さが表れていると感じる。ハザードマップで浸水の水位を見ると結構な範囲で危険な箇所がある。その辺も含めて同時進行で関連の部署とも協力しながら進めていただければと思う。

人口減少に関して、3月15日に総合政策課で市民、大学生、高校生を対象とした転出者アンケートの結果を示している。定住意向の質問項目に対し、「近いうちに転出する」という回答は、大学生は64.1%、高校生は22.5%と、若い世代の転出意向が強い。それを止めるにはどうしていくかということも重要になってくると思う。買い物や生活に不便、交通の便が悪いという点が要因になっているようである。本計画は非常に重要になってくると思っているので、アンケートも含めて何がどのように悪いのか等、具体的に調査しながらまちづくりを進めていただければと思う。

(委員)

公共交通について、市内の中心は循環バスが走っていて、年中無休で利便性が高いと思うが、周辺地域ではバス停はあっても土日は運休という状況である。そのあたりを改善していかないとなかなか郊外から市内の方へは来られないのではと思っていた。

(委員長)

71頁の公共交通ネットワーク関連の部分で、活力の向上を目指すというところでデマンド交通による郊外からの交流というものも、単純に路線バスの運行事業だけでも成立しないと感じている。デマンド交通を充実させるのか、何らかの別な方法等も載せていくのが良いと思う。

(事務局)

そういった現状もあり、71頁に地域公共交通形成計画策定事業とあるが、新年度に策定作業に入っていく。地域に入り意見を聞きながら、実態等を調べながら、いろいろな交通形態を利用した場合どうなるのかもシミュレーションしながら、計画策定していく予定と聞いている。立地適正化計画とうまくリンクさせながら策定を進めたいと考えている。

(委員)

交通に関して、今年度、社会福祉協議会で地域福祉活動計画第5期を検討し、3月5日に更新した。やはり問題となるのが、郊外に暮らしている方の交通手段の確保が大変だという点である。板谷地区ではバスも通っていない、電車しかない、タクシーを使えば高額になってしまう。地域に出向くと経済的にも負担がかかるという声が上がってくるので、外出支援に向けての検討委員会を進めていくことを計画に盛り込んだ。

このことに関するこちらの情報なども提供し、連携可能なところは連携を取りながら、地域の方が安心安全に暮らせるまちづくりに協力していきたいと考えている。ハイヤー協会とも協力していきたいと考えているが、詳細はこれからの検討というところである。

(委員長)

行政の方もそのような横断的なつながりを使って色々と進めてほしい。

(委員)

介護支援も、ある地域では直接ハイヤー協会と契約をして交通手段の確保を図っている。地域における自助努力もお願いしていくという手法が必要ではと思っている。

(2) 第6章地域別構想について

事務局より、配布資料に基づき説明。

(委員長)

質問意見を出していただきたい。

(委員)

77頁からの地区別構想は、地域の方々に説明・意見聴取はしているのか。

(事務局)

策定にあたってはアンケートに寄せられた意見を活用した。また、今後、説明会を開催する予定である。

(委員)

前半までのまとめりと地区別構想のつながりが少し薄いのではないかという印象を受けた。例えば、ネットワークについては、道路整備に関する記載があるが、中心地へのアクセスをどのように構築していくのかを、すぐ実現するのは難しいかもしれないが方向性だけでも記載されるとより具体的な構想になっていくのではないか。

(委員長)

地域公共交通網形成計画策定はこれからである。

説明会では、広域的なネットワークは、本計画を基にして地域別のネットワークをこれから作っていくという説明が必要かと思う。

(事務局)

骨格的な要素として道路が表現されているが、交通軸という意味合いではそういったところを活用して公共交通を整備していくことになるかと思う。その中で、例えば公共交通における必要性に応じて道路整備につながる場合もあるかもしれないし、あるいは交通「軸」という考え方とは別に、フィールドとしてデマンド交通といったものを選択していくことであろうかと思う。今回ここでは表現していないが、具体的な部分については、今後の公共交通の検討の中で2年間かけて構築していく。前提として、多極型ネットワークの考え方をベースにしながら検討を進めていくという考えである。

(委員)

4月から新しい洪水ハザードマップができるとのことだが、山形県警から我々業者に対して、今年から入居者に洪水ハザードマップの説明をするようにとの指導があった。浸水50cm以上であろうという想定場所にも物件があるので、それなら住まない、買わないといった事態も考慮しなければいけない。もめることを回避するために、例えば重要事項説明にその旨特約で入れる等、我々業界と協議させていただけないか。

また、高速インターチェンジ周辺における産業系土地利用の検討について、個人的には大賛成だが、米沢北インターチェンジ周りは、20年30年前から騒がれており、今までは農業振興地域の除外の問題や水利権の問題でとん挫してきたという経緯がある。本計画ができれば時間はかかるかもしれないがスムーズにいくと考えてよいか。

(事務局)

東北中央自動車道の開通を受けて、そのインターチェンジ周辺の有効利用、ポテンシャルを上げていくための検討をしていくということを、本計画で発信していく。農業振興地域の問題も含めて、様々議論しながら、どんなかたちで土地利用をしていくかの議論の踏み台・方向性を示したところである。

(委員長)

洪水ハザードマップに、自分の住まいがどういうエリアに入っていて、どこに避難経路をつくっておけばいいかということまで示されているのだろうか。

(事務局)

避難経路までは記載されないと聞いている。避難場所は示している。

A4 の見開きで拡大図を示しており、今までのものよりも相当見やすくなっている。もし災害が発生した場合、各自どういったかたちで移動すればいいのか、あるいは要支援者がいる場合はその誘導について考える根拠になるかと思う。今後それを参考にしながら避難路について検討するということもありえるのではないか。

(委員長)

県内でも米沢市は防災意識が低いため、各町内単位で何かあった場合こうしようという確認だけでもしてもらえそうなアナウンスを期待する。

(3) 計画全般について

事務局より、配布資料に基づき説明。

(委員長)

70 頁の施策関連について。⑦で国土交通省の民間への支援事業等についても記載されているが、中心市街地に関しては民間の活力も使うということが記載されているかと思う。中心市街地においては、近年の大型マンションが建つ前からマンションが立地しているが、現在も一棟建設中であり、さらに新たに検討されるような話も聞こえている。かなり市中心部に集約的な居住、マンションが集まっており、本計画で述べられている流れが来ていると感じているが、果たしてこれだけが米沢のまちづくりとして良いのかをどこかで検討しなければいけない。

これが 70 頁⑤「中心地区の活力創出及び魅力の向上」の部分である。若い方々が市を離れていく現状に対して、どういった魅力をつくっていけばいいのかということも含めた検討が必要なのではないか。若い人たちは活力がないところにはいない。だから活力のある都会に一度は出てみたいという気持ちは抑えようがない。でも米沢にも働くところ・活力はあるから戻っておいでと言える状況を我々は作っていかなければならない。そういう意味合いでの活力を持たせることが必要であるという表現で市民に対して説明してもらえればと思う。

事務局より、今後のスケジュール等について説明。

(委員長)

当委員会では、本計画についての審議の結果、この素案を出すということによいか。

(異議なしとの声あり)
以上をもって議事を終わる。

(4) その他
特になし

4 閉会

[終了 午後2時50分]